

臨床検査を終了した検体の業務・教育のための使用について

NTT東日本札幌病院 臨床検査室では質の高い臨床検査を提供するために、精度管理、医療従事者の教育、異常値の原因究明、新しい検査の導入及び精度向上などの取り組みを行っております。これらの活動は、臨床検査に使用した患者様の検体の残り(残余検体)を再利用させていただくことにより継続して行うことが可能となります。残余検体の再利用にあたっては「一日本臨床検査医学会の見解一」を遵守したうえで行います。患者様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

対象

当院で臨床検査を実施した患者さんの残余検体(血液・尿・体腔液・組織など)

倫理的配慮について

臨床検査後の廃棄予定残余検体を使用するため、患者様の生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。また、患者様の個人情報(匿名化)は外部に漏れないよう管理いたします。臨床検査における業務上の成果は、学会や論文などで発表させていただくことがありますが、個人情報が漏れないように配慮いたします。

再利用の承諾について

残余検体の再利用にご承諾いただけない患者様は、お手数ですが、採血室受付もしくは生理検査受付にお申し出下さい。お申し出がない場合は、ご承諾いただいたものと判断し、残余検体を再利用させていただきます。再利用承諾の可否が診療内容に影響する事はありません。また承諾の可否はいつでも変更する事ができます。

【問い合わせ先】

NTT東日本札幌病院 臨床検査科

高桑 康成

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西15丁目

電話 011-623-7450 fax 011-623-8247